



専務取締役
平尾 啓治

プロフィール／昭和28年、別府市生まれ。
大分鶴崎工業、九州産業大学で建築を学び、
昭和52年（1977年）に三光建設工業へ入社。
現場を支える設計、積算の担当者として長年従事する。

創立65周年特集 三光建設工業の歴史



※写真中央の現在の本社ビルは1973年に建設されました



勤続43年の平尾専務が見てきた 三光建設工業の歴史

今年、創立65周年を迎えるにあたって、半世紀近く勤続している平尾専務に、当社の歴史を聞きました。

― 入社当時の会社の雰囲気はいかがでしたか？

（平尾専務） 私が入社した1977年頃は、創業者である佐藤昭三社長が50代で、あとの社員は20、30代の若手が多かったです。中堅が少なく若手ばかりだったこともあり、社長自らが現場の割り振りをし、現場をまわり、事務所では無線機を使って、各現場に声高で指示を出していました。社長からの熱のこもった指導を受けることで鍛えられ、若手社員も20代前半には現場監督を務めていました。

また当時は、社員の他に専属の大工さん達が30人ほどいて、朝には本社ビル1階に全員集まってミーティングしていたので賑やかでしたね。

― 43年の間に職場環境は、どのように変化しましたか？

（平尾専務） 私は設計や積算など内勤の仕事だったので、大きな変化はデジタル化

です。1977年当時、図面

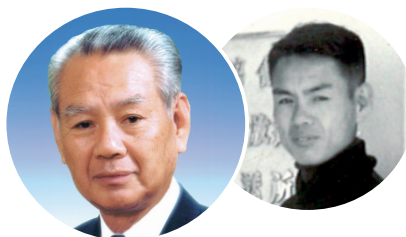
から見積書まで全て手書きでした。そのうち、パソコンを使った積算システムやCADシステムなどデジタル化の波が押し寄せてきました。当時の社長が新しい技術を導入することに積極的で、いち早くデジタル化を推進してくれたおかげで、仕事の効率が格段に上がりました。

― 数多くの建築に携わっていると思いますが印象に残る案件は何ですか？

（平尾専務） たくさんありますが、しいてあげるなら、1985年に施工した別府市庁舎の工事です。この時に、大手ゼネコンとのジョイントベンチャーを組んだことで、「この機会に技術の研鑽に励もう！」と全社一丸となって真剣に取り組んだ経験は、かけがえないものだと思います。また地元別府を代表する建物に携わったことで自信や誇りになりました。

― 平尾専務が思う三光建設工業らしさとは何でしょうか？

（平尾専務） 創業者から受け継いだ「新しいことに挑戦すること」と「地元やお客様を大切にすること」だと思っています。私は今年67才になりますが、受け継いできた三光建設工業らしさを次の世代につなぎ、より地元の方に愛される会社となるように頑張つて貢献していきたいと思っています。



創業者・佐藤昭三の口ぐせは「正直にいい仕事をすれば、会社は長続きする」でした。



転機となった別府市庁舎工事。この後、別府ビーコンプラザ、キャノン大分、立命館アジア太平洋大学、別府アリーナなど数々のビッグプロジェクトに関わるようになりました。

新入社員研修

前号では、2020年4月1日入社の宇都宮、浅川、佐藤をご紹介しました。3人は入社後、新入社員研修を受けています。今回は研修の様子をご紹介します。



専務取締役
ひろのり ひらね
平尾 啓治

私は設計の研修講師を担当しました。設計は図面だけ見ると平面的にしか分からないので立体的にイメージができるように箱を使って説明しました。



研修内容は、ビジネスマナーや設計など多岐に渡ります。各々の業務に精通した先輩社員が講義形式で研修を行ったり、実務研修もあります。入社後の早い段階で業務の概要を理解してもらい、配属先の実務にスムーズに移行できるようにしています。



うつのみや ゆうじ
宇都宮 裕史

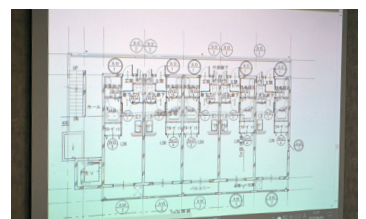
図面を見た後に、外の実際の建築物を見に行ったりしてとても分かりやすいです



あさかわ たろう
浅川 太郎

質問にも丁寧に答えていただき、勉強になります。メモをとる身につけます

実際の施工図面をもとに教えていただいているので現場のイメージが掴めます



さとう かいと
佐藤 海斗



スタッフ紹介コーナー

工事部（入社2年目）

わた なべ せい や
渡辺 誠也

●仕事内容

工事写真の撮影が仕事のメインです。一日中、工事の進捗に合わせて写真を撮ったり、先輩の助手をしています。先輩の指示を聞き日々勉強しています！

●仕事で大切にしていること

報連相と、何事も恐れずにチャレンジすることを大切にしています。

●将来の夢

今、荒金先輩と同じ現場にいますが、3～4年後には荒金先輩のようになりたいと思っています。今は先輩に助けられてばかりですので、学んで成長し、将来、荒金先輩のように、後輩をフォローしたり、教育ができるようになりたいと思っています。

好物は焼肉！

好きなメニュー
1位 2位 3位
鳥のセシマイ トリミソ 鳥のセシマイ

座右の銘は
水滴石を穿つ

鶴崎工業高校の
建築科卒の19歳！

好き



建設現場の新型コロナウイルス感染防止対策について

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて、日常では『3密を避ける』や『外出を控える』などの対策をといわれております。建設現場においても、以下のような、感染防止対策を進めております。①作業員はマスクの完全着用 ②作業前の体温測定を実施 ③朝礼は一定距離を確保して行う ④休憩はなるべく屋外とし、対人距離を確保する。以上です。日本での感染者数は減少傾向ですが、今後も気を緩めることなく対策を続け作業を行っていきます。

誕生月が
**6月の
スタッフ**

佐藤秀男さん 北村秀敏さん

佐藤三千代さん 友久亮平さん

おたんじょうび
おめでとう！

編集後記

第3号は、三光建設工業の歴史特集でした。新しいことに挑戦する！という創業者の意思が65年間、脈々と受け継がれ、現在に繋がっています。次号は、大分県下初の免震構造マンションについて特集します！



HP & SNS で最新情報発信中！

三光建設工業のホームページやフェイスブックページで、最新情報を発信しています。ぜひこちらをご覧ください。



↑ HP



↑ FB



最新情報
発信中！